

# 福島第一原子力発電所3号機 安全点検中に確認された燃料取扱機の停止について

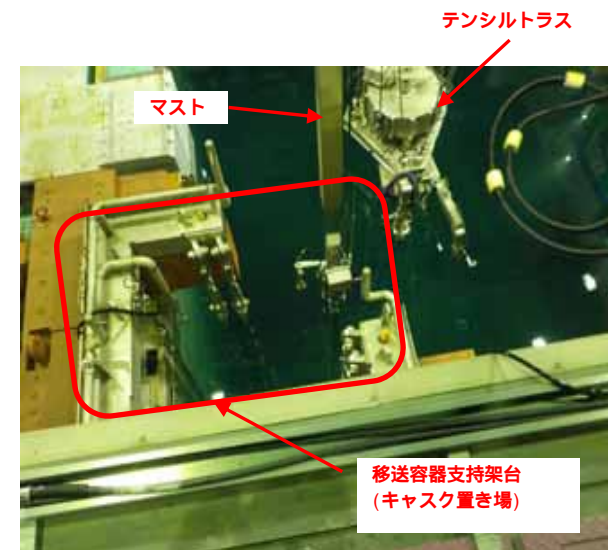
< 参 考 資 料 >  
2018年11月14日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

## 【不具合発生時の概要】

- ・ 2018年11月11日午後2時43分：燃料取扱機（FHM）にて模擬燃料をキャスクへ移動する動作確認を実施していたところ、複数の警報が発生し、自動で停止（ITVも映らない状態となった）。
- ・ 午後9時20分頃：遠隔操作室（事務本館）と3号機燃料取扱設備をつなぐ光伝送装置の電源（経由している共用プール建屋に設置）がオフ状態になっていることを確認。
- ・ 11月12日午前0時頃：光伝送装置の電源がオフ状態になっている理由の確認、ならびに電源を再度オン状態にした場合の影響等の検討が必要であると判断。また、模擬燃料は、直下に実際の燃料が無い場所を移動しており、さらには、FHMは燃料を把持した状態を維持する構造となっていること等から、翌朝、安全確認をした上で復旧することとした。

## 【その後の対応状況】

- ・ 11月12日午前8時頃：FHMが停止した同時刻には、共用プール建屋において、所内共通ディーゼル発電機系統の電源設備を点検するために電源を停止しており、負荷として光伝送装置の電源他が繋がっていたことを確認。
- ・ 午前10時21分：当該電源の影響度等の安全を確認したうえで電源を復旧し、ITV含むFHMを復旧。
- ・ 午後0時32分：模擬燃料を元のラック内に戻し入れ完了。

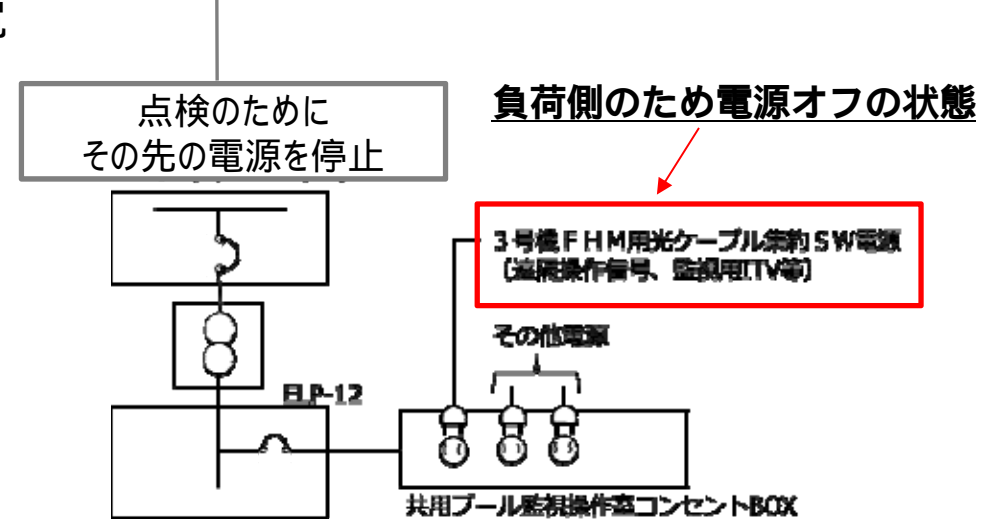


自動停止後のマスト(FHM)の状態

## 【原因】

- ・ 所内共通ディーゼル発電機系統の電源設備を点検するにあたり、点検担当箇所は、ルール通り設備図書（単線結線図）を確認の上で電源を停止した。
- ・ 当該設備図書には、本来、3号機燃料取扱設備への光伝送装置の電源等が記載されているべきところ、未反映であり、設備の担当箇所と未調整のまま電源を点検停止した。

## 所内共通ディーゼル発電機系統の 電源設備の点検



共用プール 3号機燃料取扱設備光伝送装置用電源構成

## 【再発防止策】

- ・ 3号機燃料取扱設備に関する設備図書を関係者内へ共有する。
- ・ 実際の設備状況を設備図書へ速やかに改訂・登録する。
- ・ 電源停止や切り替え等を行う際は、設備担当箇所と調整を実施する。